

ひなたぼっ」通信

2019年
12月号

ケアハウスから

「十月の台風」2階

今回の台風は、今までにない大型台風で長野県にも影響があるとの情報でした。それで、数日前からケアハウスでは事務室のメンバーや関係の方々が非常時に備えての準備をされていました。

そして、当日はテレビで刻々と各地の山崩れや川の氾濫や浸水の様子が報道されて、被災地の方々のご苦労に心配が募るばかりでした。一方ケアハウスでは主任など中心的なメンバーはチームワーク良く、いろいろと私には分からない細々とした準備などに追われていました。私は、利用者の皆様の安全を確保するために、見守りをさせていただきますました。

実は私のうちの近所に、こういう時には見守りが必要とされる、一人暮らしの方がおられます。

その日、私は家に帰るとその方のうちに行き、電気やガスを止め、非常袋、食料、布団などを車に積みました。そして、その方と車中で一晩、携帯を握り、不安な夜を過ごしました。



一晩とは言え、とても不安な時間ではありません。翌朝、道路に枝や木の葉は沢山落ちていたものの、いつもとあまり変わりない風景に、私は胸をなでおろしました。テレビでは、高齢の方々が施設に取り残されたという報道もありました。それらの報道に接して、ケアハウスでも他人事ではないのだと思いました。

今後に向けて、話し合いの場などが持てれば良いと思った、今回の台風でした。(M)

「住人」1階

ぼくの名前は「サスケ」ここに住んでどのくらいになるのだろうか・・・

今年の夏は梅雨がとても長くうっとうしかった。8月に入りやっと晴れの日が続き、日光浴ができるようになった。

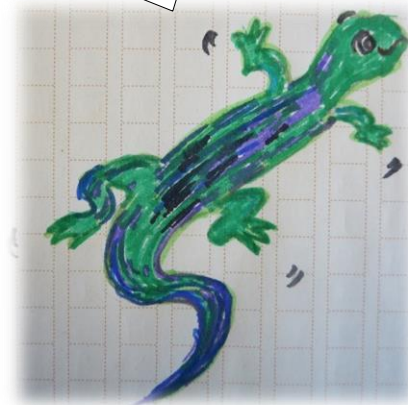
ある日、日光浴をしようと外に出ると、ぼくの身体全体を大きな影が覆いつくし、ぼくが動きを止めると、大きな影も動かず、お互いが我慢くらべになる。しびれを切らした大きな影が去ってゆく。ぼっとするぼくの身体を、その影が後目(しりめ)に見ているのを感じた。命がけである。

そういえば最近上階の住人達は随分静かである。以前はともうるさいくらいであったのに、今はテレビの音しか聞こえない。

話によると、2人介護施設に入居したようだ。現代の世相は変わりつつある。大変な時代なんだと思った。それでもぼくの生活は変わらさず朝がきて夜がくる。命がけの日光浴もまんざら嫌いでも

ない。なんでもない毎日に感謝しながら生きてゆく。さて、もうじきやってくる冬の準備をしよう。ぼくは、この階下に住むしっぽの長い「トカゲ」さ・・・(M・F)

ボクの名前はサスケ。トカゲが文を書くなんでロマンチックでしょ、ウフ・・・



宅幼老所から

「新しい仲間が増えました」

十一月から、宅幼老所に小さな仲間が加わりました。なんとまだ1歳3か月！パッチリ二重の可愛らしい男の子です。お母さんの横で、一生懸命に仕事(遊び)をしています。ニコニコ笑顔で遊ぶその姿に、利用者様も職員も毎日癒されていきます。笑ったお顔がとても可愛いらしいのですが、カメラを向けると怖いのか、

笑顔の写真が撮れませんでした・・・
・残念！



グループホームから

「それぞれの方が自分の力を発揮できる場に」1階今年も、宅幼老所とグループホームが共同で、富士見の文化祭・生活展に作品の出品をさせて頂きました。

「日々の生活の中で思いを詩にし、押し花を添えた作品。」「ホタテの貝殻に色を塗り装飾して、アクリルペイントにした作品。」「ペットボトルに色とりどりの松ぼっくりをいれて作った、なんちゃってハーバリウム。」などがずらり。宅老所と共同のひなたぼっこブースにご利用の方の力作が豪華に展示されました。

生活展にて無料配布した動物のマスコットは、小さな子供達や、お孫さんにあけるといってご心配の方に大好評でした。

当日の展示場では、地域の方との交流もあり、地域の方から「あなた達が作ったの?！」

「凄いわねエー」

と声を掛けられ握手を交わす場面もありました。その時のご利用者様の満面の笑顔はとても印象的でした。また、知った方と何名もお会いする事もでき「また、来てね、待ってるでね!」と握手を



交わされてもらっちゃいました。

文化祭に生活展にと、自分の手掛けた作品の展示を見る事ができ、地域の美味しい物を食べる事もできました。また、いろんな方と交流する事もでき、参加された利用者の皆様は、地域の行事を満喫されたように思います。一緒に参加させていただいた私にも楽しい時間でした。本当にありがとうございました。

放課後等デイから

「子ども達のプレゼント」

十二月の声を聞くと、

世の中はクリスマスシーズンになります。それは放課後に集まってくる子ども達も同じです。森で切ってきたモミの木に思いの飾りをつけて、その一方で、一人一人のクリスマス用に可愛いリースも作っています。

「いつも工作用に段ボールもらったり、前にお花も摘ませてもらったよね。」と子ども達に話し、グループホームや宅幼老所のお年寄りに向け、リースを作って贈ることを提案しました。

すると、どの子どもも意欲満々で制作にかかりました。紙粘土に色を付けて型で抜いて乾かしました。拾ってきた松ぼっくりや色つけしたマカロニなどを紙皿に配置して、リボンを付けると可愛いリースの出来上がりです。できたリースをグループホ



ームや宅幼老所に子ども達と一緒に持って行くかと思っています。さてさて、子ども達のリース、皆さんに喜んでもらえるでしょうか。

編集後記

今回、ケアハウスの一階からは掌編小説仕立ての文の投稿がありました。この通信への投稿としては珍しい。さて、サスケくんは独自の視点からケアハウスの利用者の皆様や職員をどんなふうに観察してくれるのでしょうか。今後の展開が楽しみです。ところで、これから始まる寒い冬を、彼らはどんなふうに乗切り切っていくのでしょうか。他人事ではありますが、気になりますね。

無料塾・フードバンク

11月は6人のお子さんが来てくれ、ボランティアの講師の方と勉強しました。100円食堂の今回のメニューはラーメン!みんなで舌鼓を打ちました。「12月は何?」と楽しみにしている子もいます。

今回フードバンクをご利用の方は、11名でした。

次回 12月22日(日)

10時~12時 無料塾

12時~100円食堂

※手伝ってくれる方募集中!!

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

〒399-0211

富士見町富士見1-1650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336

